

# 第2期 町長マニフェストに係る事業進捗評価 (令和5年3月31日現在)

「町民が幸福で豊かな生活ができる町」を目指し、人や産業を育てる施策(ソフト事業)、人や地域や産業に寄り添った行政サービス、後世に負担を残さない行政を目指します。

## マニフェスト基本方針

1. 豊かで住みよい町づくり
2. 地元産業が元気になる町づくり
3. 安全・安心な町づくり
4. 心やすらぐ町づくり
5. 自立した町づくり

## 進捗評価

事業進捗評価に当たっては、各施策の進捗状況について、5つの基本方針に基づく**合計30の項目毎**にどの程度実施できているかという視点から、右記のとおり4つの進捗度指標により評価する。

進捗度	コメント
A	達成済
B	達成に向け、進捗が見られるもの
C	進捗度の低いもの
D	未実施

## 1. 豊かで住みよい町づくり

デジタル化(DX)を通じて、誰もが便利で健やかな暮らしを送ることができる町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-1	希望する小学生を対象に、公営学習塾に新たに英語学習を取り入れ、 <b>町の未来を担う人材育成</b> に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R3年度に開校した公営学習塾のみらい学園の入塾者数は、286人中150人であり、52.4%となっている。(R5年3月末現在) 英語教育の更なる充実を図るため、R5年度から<b>5～6年生に英語学習を導入</b>する。</li> </ul>
1-2	<b>図書館等複合施設</b> が町民ニーズに応えるよう、運営手法の検討及び整備を推進します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課 副：住民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R3年度に策定した図書館等複合施設基本計画について、R4年度に事業費等の見直しを実施。R5年度に<b>基本設計を策定</b>する。</li> <li>▶ 図書館との複合施設として児童館を新設予定。今後、児童数減少を見据え、2館の統合を含め検討を行っていく。</li> </ul>

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
1-3	すべての子どもが幸せに暮らせるよう、子どもの発達やひとり親への支援など、 <b>多様な視点で子どもの成長をサポート</b> します。	C	進捗度の低いもの	主：住民課 副：健康福祉課 副：教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R1年度に開設した病後児保育「わんわん」について、利用登録者数が49名となっている。（R5年3月末現在） 幼児スペース機能の充実を図るため、病後児保育だけでなく、町内在住もしくは町内勤務者を対象とした<b>一時預かり保育</b>を検討し、指定管理者と協議を実施。R5年4月に開始予定。</li> </ul>
1-4	デジタル技術を活用して、 <b>便利で利用しやすい公共交通の運行方法を検討し、導入</b> します。	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に<b>AI活用型オンデマンドバス導入</b>の検討を開始した。 R4年11月に、全国においてAI活用型オンデマンドバスの運行実績のあるシステムを提供するネクスト・モビリティ株式会社と<b>協定を締結</b>。 実証運行に向けて、関係者間で調整を行っていく。</li> </ul>
1-5	高齢者が安心して元気に生活できる環境を整え、 <b>健康寿命を延ば</b> します。	C	進捗度の低いもの	主：健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R3年度に開始した<b>介護職員等就職支援奨励金</b>制度について、R4年度から交付対象者を拡大し、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士を追加。</li> <li>▶ <b>高齢者向け住宅の拡充</b>について、R5高齢者福祉計画策定時に<b>ニーズ調査</b>を実施予定。 調査結果を踏まえて<b>拡充の検討</b>をしていく。</li> <li>▶ <b>地域包括支援センターの業務委託</b>について、R4年10月に町内介護事業者へサウンディング調査を実施。R6年4月からの業務委託開始に向けて、関係機関と協議を進めている。</li> </ul>
1-6	町民の健康の維持・増進を目指し、 <b>自ら健康管理に取り組む習慣</b> を広めます。	C	進捗度の低いもの	主：健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度から新たに保健師3名を任用し、保健体制の強化に繋げていく。</li> <li>▶ R4年度から<b>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組み</b>（正規職員の保健師等を専従させ、データ分析、保健事業の企画調整を行う。）を開始。</li> </ul>

## 2. 地元産業が元気になる町づくり

農林漁業・中小企業の振興を通して、にぎわいと雇用を創出できる町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
2-1	新型コロナウイルス感染症で打撃を受けた地域産業の振興に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に本町独自の緊急経済対策として、<b>玄海町みんなで応援券（商品券・プレミアム付食事券）</b>を発行した。</li> <li>▶ R4年度に原油価格の高騰の影響を受ける商工業者、農業者、畜産業者を支援するため、本町独自の<b>原油価格等高騰緊急対策補助金</b>を交付した。</li> <li>▶ R4年度に原油価格の高騰の影響を受ける施設園芸農業者を支援するため、本町独自の<b>園芸生産燃油高騰対策事業費補助金</b>を交付した。</li> <li>▶ R4年度に肥料等の価格高騰の影響を受ける農業者を支援するため、秋肥を対象に本町独自の<b>肥料等価格高騰対策事業費補助金</b>を交付した。 R5年度は春肥を対象に補助金を交付する。</li> </ul>
2-2	農林漁業の <b>新規就業者</b> を支援します。	C	進捗度の低いもの	主：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年10月に本町に移住し、新規就農や新規就漁を希望する人とのマッチングを図る「<b>新規就農者・新規就漁者・移住相談会</b>」へ参加した。</li> <li>▶ R5年2月に、本町に移住し新規就農や新規就漁を希望する人とのマッチングを図る「<b>マイナビ農林水産FEST</b>」へ参加した。</li> <li>▶ R4年度に関係機関で組織する「<b>玄海町園芸推進協議会</b>」を設置し、新規就農者への支援体制を整えた。</li> <li>▶ R5年度から新規就業支援策に、新たに<b>親元就農、就漁への支援</b>を拡充する。</li> <li>▶ R5年度から新規就農者の初期投資抑制を図るため、<b>施設整備・機械購入</b>にかかる支援を行う。</li> </ul>
2-3	民間企業の誘致に向け、新たな支援策を検討します。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に町の課題の洗い出しを行い、今後の取り組みの方向性について検討を行った。 今後も誘致実現のため慎重に検討していく。</li> </ul>
2-4	町を支える <b>中小企業の活性化</b> を支援します	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>キャッシュレス導入支援</b>について、R5年3月にみんなで応援券登録事業者に対し、キャッシュレスの導入状況や導入可能性について調査を実施。 調査結果を踏まえてR5年度に事業スキームを検討する。</li> </ul>
2-5	地域資源を活用し、 <b>外貨を稼ぐ力</b> を育てます。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課 副：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R2年度に完成した<b>ミシマサイコ茶</b>を、R4年5月から「<b>和彩香茶</b>」として販売を開始した。</li> <li>▶ R4年11・12月に福岡市天神のホテルで「<b>玄海町フェア</b>」を開催し、玄海町の産品を使った料理を提供した。</li> <li>▶ R4年度から仮屋地区における地域拠点整備導入調査を実施しており、<b>観光誘客等に寄与する拠点づくり</b>について検討を行っていく。</li> </ul>
2-6	<b>遊休農地の活用</b> に関する支援を行います。	D	未実施	主：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特になし</li> </ul>

### 3. 安全・安心な町づくり

感染症や災害から町民の命と暮らしを守り、安全安心に暮らせる町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
3-1	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図る取組を進めます。	C	進捗度の低いもの	主：健康福祉課 副：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 玄海町のオミクロン株対応ワクチンの接種状況は、46.24%となっている。（令和5年3月19日現在）</li> <li>▶ R4年度に本町独自の緊急経済対策として、<b>玄海町みんなで応援券（商品券・プレミアム付食事券）</b>を発行した。</li> </ul>
3-2	災害時の司令塔かつ防災教育の実践の場として「 <b>防災センター</b> 」の整備を進めます。	D	未実施	主：防災安全課 副：総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 防災センターの整備に向けて、R5年度に<b>基本方針</b>及び<b>基本計画</b>を策定する。</li> </ul>
3-3	有浦川河川改修(県事業)の推進を図るとともに、 <b>関連事業を着実に実行</b> します。	C	進捗度の低いもの	主：まちづくり課 副：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R5年度に有浦川河川改修に伴うまちづくり計画策定支援業務を実施し、将来的なまちづくり等の視点を考慮した有浦川の河川改修計画に併せた<b>周辺整備計画</b>を策定する。</li> <li>▶ R4年度に有浦川河口土砂測量業務委託を実施し、浚渫土量の算定、深浅の測量を実施した。調査結果を基に有浦川河口<b>浚渫の検討</b>をしていく。</li> </ul>
3-4	「空家等対策計画」を作成し、 <b>空き家の適正な管理と活用を行う方針</b> を検討します。	C	進捗度の低いもの	主：まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に玄海町空家実態調査支援業務を実施し、町内全域における戸建住宅の空家状況を調査した。調査結果を基に空家状況をリスト化・地図化し、今後の<b>空家の適正管理</b>に活用していく。</li> </ul>
3-5	安心な暮らしを実現できるよう <b>移住窓口の設置やお試し体験住宅を整備</b> します。	C	進捗度の低いもの	主：まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年11月に玄海町各地を回りながら、玄海町の土地柄や生活の雰囲気を経験できる「<b>玄海町日常体験ツアー</b>」を開催した。</li> <li>▶ R5年度に移住窓口で本町の補助制度を案内する際の、移住メリットが分かる<b>玄海町の手厚い制度をまとめたパンフレット</b>を作成する。</li> <li>▶ R5年度に移住希望者が短期間移住できる住居を提供することで、移住の最終判断や住まい探しの機会を確保するため、<b>移住体験住宅のあり方や整備内容</b>の検討を行う。</li> </ul>
3-6	防犯灯等の更なる整備や緑地保全等の <b>住環境整備と住宅地の整備</b> を進めます。	C	進捗度の低いもの	主：まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 防犯灯について、毎年順次整備を実施しており、R5年3月末現在のLED化実施基数は135基。R5年度は27基の防犯灯を整備予定。</li> <li>▶ 宅地造成について、R4年度に宅地整備候補地の選定を行った。R5年度に<b>候補地の測量及び基本設計</b>を実施する。</li> </ul>

## 4. 心やすらぐ町づくり

地域の文化や風景を守り育み、観光資源を磨き上げ、さらに魅力的な町にします

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
4-1	玄海町観光戦略に沿って事業を推進します。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R5年度に町の観光資源や特産品をイメージした、<b>キャラクター製作</b>を行う。</li> </ul>
4-2	上場地域の観光ルートづくりと情報発信を強化して、観光客の誘致に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：企画商工課 副：農林水産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>上場四町の観光地を周遊するルートづくり</b>のため、関係団体・自治体の関係づくりを行っている。</li> <li>▶ 上場四町の観光冊子を作成し、<b>シティプロモーション政策</b>を実施。</li> <li>▶ R5年2月に唐津観光協会主催で、浜野浦の棚田や薬草園、ふるさと発想館等をめぐる「<b>玄海町満喫日帰りバスツアー</b>」が2回開催された。</li> <li>▶ R5年7月に完成するバイオガス発電所の一般見学者向けのルートづくりや、バイオガス発電所の視察受け入れに伴う観光ルートづくりを検討する。</li> </ul>
4-3	観光客の消費を促す拠点づくりを進めます。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 浜野浦の棚田の駐車場について、R5年度に<b>駐車場拡充</b>に向けた拡充の方針や方法等を決定していく。</li> <li>▶ R5年度に浜野浦の棚田の耕作者や観光客の安全確保を図るために必要な整備について調査を実施する。</li> <li>▶ R4年度から仮屋地区における地域拠点整備導入調査を実施しており、<b>観光誘客等に寄与する拠点づくり</b>について検討を行っていく。</li> </ul>
4-4	浜野浦の棚田など景観の保全と、景観を活かしたコンテンツづくりに取り組みます。	C	進捗度の低いもの	主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に4色に輝く1万4000本のLEDライトで、浜野浦の棚田にあかりを灯す「<b>結ぶ繋ぐあかり</b>」を開催した。</li> </ul>
4-5	廃校施設の利活用について検討します。	D	未実施	主：教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 廃校舎に設置されているプールの老朽化に伴い修繕が発生しているため、まずはR6年度以降に、各コミュニティセンターのプールの解体を検討する。</li> </ul>
4-6	小中学生が本物のアートや歴史文化に触れる機会を創出します。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 子どもから高齢者まで幅広い層に日本の文化を身近に感じてもらう機会を提供するため、文化人や歌手等を選定し、毎年<b>文化講演会を開催</b>している。 令和4年11月27日に文化講演会（KBCラジオ艶歌につぼん公開収録）実施。</li> <li>▶ R4年4月から<b>文化財専門員</b>を任用し、文化財の保護などの取り組みを強化している。</li> <li>▶ R3年度にサガン鳥栖と連携協定を締結しており、R4年度に初の連携事業である「<b>サガン夢先生</b>」を実施した。 スポーツを通じた地域交流や人材育成、健康づくりのため、R5年度以降もその他の交流について検討していく。</li> <li>▶ R4年10月に開催された「玄海町わんぱく相撲大会」に、鳴戸部屋の鳴戸親方や力士が訪れ、<b>子どもたちと交流</b>した。</li> <li>▶ R3年度に実施した文芸作品公募事業にて<b>受賞した作品を書籍化</b>。町の認知度向上を図った。</li> </ul>

## 5. 自立した町づくり

町民皆さんの活躍を後押しし、未来に向けて前進を続ける町を目指します

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-1	町民や企業、大学等の経験・技術・アイデアを積極的に政策に反映し、一緒に取り組みます。	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：企画商工課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 町民参画を推進するため、役場と町民会館に<b>町政提言箱</b>を設置している。また、広報誌のアンケート結果を、庁内へ周知し情報共有を行うほか、質問や要望等に対する回答を「<b>じいやに聞いてみようのコーナー</b>」で不定期に掲載している。</li> <li>▶ R5年度から行政と住民の相互理解を深め、住民参加の町づくりを図るため、若者や女性、婦人会、企業、大学等との座談会を実施予定。まずは、R5年2月に女性グループ（旧婦人会）と<b>お試し座談会</b>を実施。</li> </ul>
5-2	最先端技術を使って、エネルギーを賢く使う取組を支援し、環境保全や脱炭素化を進めます。	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R5年度に次世代エネルギーパークあすびあの特徴を活かした、エネルギーや環境に関する教育や知識の普及を図るリニューアル計画の検討を行う。</li> <li>▶ ごみの減量化・資源化に取り組むため、R4年10月に役場駐車場と値賀第3コミュニティセンターの2か所に<b>資源物回収ボックス</b>を設置。R4年10月から2月までに段ボール4,860kg、新聞紙250kg、雑誌2,890kgを回収し再資源化を行った。</li> <li>▶ R5年2月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改訂。この計画に基づき、2030年度までに二酸化炭素の排出量を2014年度より<b>55%削減</b>する。</li> </ul>
5-3	SDGsへの貢献も見据え、日本や世界に貢献できる政策を行います。	C	進捗度の低いもの	主：全課	<p>「目標4 質の高い教育をみんなに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 英語教育の更なる充実を図るため、R5年度から<b>5～6年生に英語学習を導入</b>する。</li> </ul> <p>「目標6 安全な水とトイレを世界中に」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年度に町民会館や社会体育館等の公共施設の<b>トイレを和式から洋式へ改修</b>工事を行った。</li> </ul> <p>「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 玄海町庁舎空調設備運用方針を見直し、省エネルギーの取り組みとしてR4年10月から空調を<b>夏季は28℃、冬季は20℃</b>に設定している。</li> <li>▶ R4年度に企業版ふるさと納税の寄附金を活用し、<b>電気自動車を1台導入</b>した。</li> <li>▶ R1年11月に玄海町が「<b>バイオマス産業都市</b>」に認定され、R4年4月にバイオガス発電所の建設工事を開始、R5年7月に<b>発電開始</b>を予定している。</li> <li>▶ 防犯灯について、毎年順次整備を実施しており、R5年3月末現在のLED化実施基数は135基。R5年度は27基の防犯灯を整備予定。</li> </ul> <p>「目標11 住み続けられるまちづくりを」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 防災センターの整備に向けて、R5年度に<b>基本方針及び基本計画</b>を策定する。</li> </ul> <p>「目標12 つくる責任 つかう責任」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ごみの減量化・資源化に取り組むため、R4年10月に役場駐車場と値賀第3コミュニティセンターの2か所に<b>資源物回収ボックス</b>を設置。R4年10月から2月までに段ボール4,860kg、新聞紙250kg、雑誌2,890kgを回収し再資源化を行った。</li> </ul> <p>「目標13 気候変動に具体的な対策を」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R5年2月に地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改訂。この計画に基づき、2030年度までに二酸化炭素の排出量を2014年度より<b>55%削減</b>する。</li> </ul>

No	項目	評価		担当課	進捗状況
		進捗	コメント		
5-4	各種交付金を活用しながら、 <b>明るい未来の玄海町に向け、必要なところに、必要な予算を投資します。</b>	C	進捗度の低いもの	主：総務課 主：企画商工課	▶ 電源立地地域対策交付金の有効活用を行った。
5-5	デジタル技術を活用して、役場業務を効率化し、 <b>利用しやすい役場</b> へ革新します。	C	進捗度の低いもの	主：防災安全課 主：企画商工課 主：総務課  副：全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ R4年10月に町民サービスの利便性の向上、地域及び産業の活性化を図るため、行政手続きのデジタル化を推進するとともに、デジタル技術を活用したDXを推進する、<b>DX推進室</b>を設置した。 R5年3月に<b>玄海町DX推進計画</b>を策定。</li> <li>▶ 情報発信に対する明確な方針を持ち、無駄なく的確に必要な情報を提供するため、R5年度に町の方針を定めた<b>広報戦略</b>を策定する。</li> <li>▶ 防災や新型コロナワクチン接種関係だけでなく、幅広い行政情報の発信を効果的に行い、また情報収集等に活用するため、R5年度から<b>LINE広報</b>を開始予定。</li> <li>▶ <b>電子入札システムの導入</b>について、事業者がわざわざ役場へ来庁する必要を無くし、事務所で手軽に応札できるようにするため、R6年度運用開始を目指し、R5年度にシステム構築を実施する。</li> <li>▶ <b>キャッシュレス導入支援</b>について、R5年3月にみんなで応援券登録事業者に対し、キャッシュレスの導入状況や導入可能性について調査を実施。 調査結果を踏まえてR5年度に事業スキームを検討する。</li> <li>▶ 玄海町のマイナンバーカードの交付率は72.9%となっている。 (令和5年3月12日現在) <b>コンビニ交付</b>について、住民サービスの向上と窓口業務の効率アップを図るため、R6年度運用開始を目指し、R5年度にシステム構築を実施する。</li> <li>▶ R4年度は地域内の公共交通における利便性の向上を図るため、<b>AI活用型オンデマンドバス導入</b>の検討を開始した。 R4年11月に、全国においてAI活用型オンデマンドバスの運行実績のあるシステムを提供するネクスト・モビリティ株式会社と<b>協定</b>を締結。 実証運行に向けて、関係者間で調整を行っていく。</li> </ul>
5-6	<b>社会の変化に柔軟に対応する組織づくり</b> に取り組みます。	B	達成に向け、進捗が見られるもの	主：総務課	▶ 組織規模の適切化を図りながら、新たな行政課題に対応するための組織体制の確立を図るため、住民課、健康福祉課の2課体制から、 <b>3課体制へ再編</b> する条例改正をR4年12月に実施し、R5年4月から体制を変更する。

進捗度指標A「達成済」及びB「達成に向け、進捗が見られるもの」を合計したものを達成度として設定し、合計30項目の評価結果を集計したところ下記のとおりとなりました。

### 進捗度・達成度

※R5年3月31日時点

進捗度	A	達成済	0項目 / 30項目 ⇒ 00.0%
	B	達成に向け、進捗が見られるもの	6項目 / 30項目 ⇒ 20.0%
	C	進捗度の低いもの	21項目 / 30項目 ⇒ 70.0%
	D	未実施	3項目 / 30項目 ⇒ 10.0%
達成度	A・B	達成済 又は 達成に向け、進捗が見られるもの	6項目 / 30項目 ⇒ 20.0%